

川田喜久治

Kikuji Kawada

- 1933年 茨城県土浦市に生まれる
1955年 立教大学経済学部卒業 新潮社に入社、「週刊新潮」写真部
1959年 新潮社退社
写真エージェンシー「VIVO」設立メンバー
1961年 VIVO解散、フリーランスとなる

受賞

- 2011年 日本写真協会賞 作家賞
2004年 芸術選奨文部科学大臣賞
1996年 日本写真協会賞 年度賞
東川賞 国内作家賞

主な出版物

- 2022年 「Vortex」 赤々舎
2021年 「地図 マケットエディション」 Mack
「One picture Book Two #25」 Nazraeli Press
2020年 「20」 bookshop M
2016年 「遠い場所の記憶 1951-1966」 Case Publishing (FAPA)
2015年 「The Last Cosmology」 Mack
2014年 「地図」 限定復刻版 Akio Nagasawa Publishing
「SIX BY SIX - Japan 1951-1960」 Nazraeli Press
2010年 「ワールズ・エンド World's End」 フォトアルバム 私家版
2008年 「遠い場所の記憶 1951-1964」 ブックオブジェ 私家版
2005年 新版「地図」 <限定版> 月曜社
2003年 「世界劇場 Theatrum Mundi」 東京都写真美術館 個展カタログ
2001年 「Eureka 全都市」 ポートフォリオ P.G.I.+K.K.
1998年 「世界劇場 The Glove Theater」 私家版
「日本の写真家 33 / 川田喜久治」 岩波書店
1995年 「ラスト・コスモロジー The Last Cosmology」 491+三菱地所
1986年 「ロス・カプリチオス」 <私家版> ポートフォリオ
1984年 「川田喜久治・オリジナルプリント・Nude」 <限定版> 新潮社
「ルードヴィヒII世コレクション」 自家版
1979年 「ルードヴィヒII世の城」 朝日ソノラマ
1971年 「聖なる世界 Sacré Atavism」 <限定版> 写真評論社
1965年 「地図 The Map」 <限定版> 美術出版社

個展

- 2022年 「Vortexのために」 Purple (京都)
「地図」 The Third Gallery Aya (大阪)
「ロス・カプリチョス 遠近」 PGI (東京)
- 2021年 「エンドレス マップ」 PGI (東京)
- 2020年 「『赤と黒』 Le Rouge et le Noir」 リコーイメージングスクエア東京 (東京)
「Los Caprichos」 L. Parker Stephenson Photographs (ニューヨーク)
- 2019年 「影のなかの陰」 PGI (東京)
- 2018年 「ロス・カプリチョス -インスタグラフィ- 2017」 PGI (東京)
「百幻影 - 100 Illusions」 キヤノンギャラリー S (東京)
- 2016年 「Last Things」 PGI (東京)
「Then & Now」 L. Parker Stephenson Photographs (ニューヨーク)
- 2014年 「The Last Cosmology」 L. Parker Stephenson Photographs (ニューヨーク)
「The Last Cosmology」 Michael Hoppen Gallery (ロンドン)
- 2013年 「unknown 2013」 ライカギャラリー東京 (東京)
- 2012年 「2011 - phenomena」 フォト・ギャラリー・インターナショナル[以下P.G.I.] (東京)
- 2011年 「日光-寓話 Nikko-A Parable」 P.G.I. (東京)
- 2010年 「ワールズ・エンド World's End 2008 - 2010」 P.G.I. (東京)
- 2009年 「ラスト・コスモロジー」 東京国立近代美術館 (東京)
- 2008年 「遠い場所の記憶 メモワール 1951-1966」 P.G.I. (東京)
- 2007年 「ATLAS 1998-2006 全都市」 エブサイト (東京)
- 2006年 「見えない都市」 P.G.I. (東京)
「Kikuji Kawada: The Map / Globe Theater」 ギャラリー・カメラ・オブスキュラ (パリ)
- 2005年 「川田喜久治写真展 Eureka 全都市 Multigraph」 写大ギャラリー (東京)
- 2004年 「地図」 P.G.I. (東京)
- 2003年 「川田喜久治展 世界劇場」 東京都写真美術館 (東京)
- 2001年 「Eureka 全都市」 P.G.I. (東京)
- 1999年 「The Globe Theater」 ヘルテン国際写真フェスティバル '99 (ヘルテン、ドイツ)
- 1998年 「カー・マニアック」 P.G.I. (東京)
- 1996年 「ゼノン-ラスト・コスモロジー」 P.G.I. (東京)
「ラスト・コスモロジー」 東川国際写真フェスティバル (北海道)
「ラスト・コスモロジー」 三菱地所アルティアム (福岡)
- 1995年 「ラスト・コスモロジー」 タワーギャラリー (横浜)
- 1986年 「ロス・カプリチョス 1970-80」 P.G.I. (東京)
- 1984年 「ヌードミュージアム」、「ルードヴィヒ II 世コレクション」 P.G.I. (東京)
- 1976年 「川田喜久治展」 写大ギャラリー (東京)
- 1968年 「ある世界」 銀座ニコンサロン (東京)
- 1961年 「地図」 富士フォトサロン (東京)
- 1959年 「海」 富士フォトサロン (東京)

グループ展

- 2022年 「占領と平和」 写大ギャラリー（東京）
「Farewell Photography: The Hitachi Collection of Postwar Japanese Photographs, 1961-1989」
フェニックス美術館
- 2021年 「幻視するレンズ コレクションによる小企画」 東京国立近代美術館（東京）
- 2020年 「Giacomelli e il suo tempo」 Palazzo del Duca（セニガリア、イタリア）
「The Sky as a Studio. Yves Klein and his contemporaries」 ポンピドー・センター・メス（パリ）
「PGI summer show COLORS」 PGI（東京）
- 2019年 「The Gaze of Things. Japanese Photography in the Context of Provoke」
Bombas Gens Centre d'Art（バレンシア、スペイン）
「PGI 40周年記念展」 PGI（東京）
- 2018年 「Time Frame: Contemporary East Asian Photography」 ポルチモア美術館（メリーランド、アメリカ）
「Women -through the lens-」 PGI（東京）
- 2017年 「A History of Photography: Selection from the Museum's Collection」 ヒューストン美術館（テキサス）
「Birds in the Hand」 PGI（東京）
- 2016年 「香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治」 平塚市美術館（神奈川）
「Masters of Japanese Photography」 Sainsbury Center for Visual Arts（ノリッジ、イギリス）
「From the Collection: 1960-1969」 The Museum of Modern Art, New York（ニューヨーク）
「The Sun Placed in the Abyss」 コロンバス美術館（オハイオ）
「Japanese Photography from Postwar to Now」 サンフランシスコ近代美術館（カリフォルニア）
「ものを見る」 PGI（東京）
- 2015年 「化け物」 青森県立美術館（青森）
「In the wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」 ボストン美術館（アメリカ）
- 2014年 「Conflict, Time, Photography」 テート・モダン（ロンドン）
- 2011年 「森と芸術」 東京都庭園美術館（東京）
- 2009年 「日本の『自画像』 Japan: A Self-Portrait」 世田谷美術館（東京）
- 2007年 「VIVO」 写大ギャラリー（東京）
- 2006年 「EHON: The Art and Book in Japan」 ニューヨーク・パブリック・ライブラリー（ニューヨーク）
- 2003年 「The History of Japanese Photography 日本写真史展」 ヒューストン美術館（テキサス、アメリカ）
「VIVO」 島根県立美術館（島根）
- 2001年 「Viva! ITALIA」 東京都写真美術館（東京）
「Illusion: Japanese Photograph」 Kulturhuset（ストックホルム、スウェーデン）
同展はデンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランドで巡回展示される
- 2000年 「P.G.I.ギャラリー・アーティスト展」 P.G.I.（東京）
- 1999年 「Contemporary Photographic Art from Japan」 Neuer Berliner Kunstverein（ベルリン）
「写真表現の軌跡／第2部 日本の写真：1950年代から現代まで」 東京都写真美術館（東京）
「写真再発見 東京国立近代美術館の写真コレクションより」 東京国立近代美術館フィルムセンター（東京）
- 1998年 「Waterproof」 エキスポ '98（リスボン）
「視線の回廊／第1部 物語とイメージ」 東京都写真美術館（東京）
「Under/Exposed」 スtockホルム写真フェスティバル（ストックホルム、スウェーデン）
「戦後日本のリアリズム 1945-1960」 名古屋市美術館（名古屋）

- 1995年 「戦後文化の軌跡 1945-1995」 目黒区美術館（東京）
「モノ・カオ・反物語」 東京都写真美術館（東京）
「25人の20代の写真」 清里フォトアートミュージアム（山梨県清里）
- 1991年 「日本写真の転換 1960年代の表現」 東京都写真美術館（東京）
「Beyond Japan: A Photo Theatre」 バービカン・アート・ギャラリー（ロンドン）
「写真の1955-65 自立した映像群」 山口県立美術館（山口）
- 1990年 「デジャ=ヴュの眼」 ハイネッケン・ヴィレッジ・ギャラリー（東京）
- 1989年 「Photographie Japonaise」 Provincial Museum（オランダ）
- 1988年 「日本の写真家8人展」 P.G.I.（東京）
- 1986年 「前衛芸術の日本 1910-1970」 ポンピドゥー・センター（パリ）
「スーパー・イメージの世界」 西武シード館（東京）
- 1985年 「パリ・ニューヨーク・東京」 つくば写真美術館 1985（茨城）
- 1981年 「VIVO展 1959-1962」 写大ギャラリー（東京）
- 1979年 「Japan: A Self - Portrait」 国際写真センター（ニューヨーク）
- 1978年 「VIVO」 サンタバーバラ美術館（カリフォルニア）
- 1976年 「Neue Fotografie aus Japan」 グラーツ市立美術館ほか（グラーツ、オーストリア）
- 1974年 「New Japanese Photography」 ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク）
- 1963年 「現代写真展 1961/1962」 東京国立近代美術館（東京）
- 1962年 「Non」 銀座松屋ギャラリー（東京）
- 1957年 第1回「10人の眼」 小西六フォトギャラリー（東京）

パブリックコレクション

- 東京国立近代美術館（東京）
東京都写真美術館（東京）
北海道立釧路芸術館（釧路）
川崎市市民ミュージアム（神奈川）
清里フォトアートミュージアム（山梨）
山口県立美術館（山口）
多摩美術大学美術館（東京）
東京工芸大学（東京）
日本大学（東京）
ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク）
サンフランシスコ近代美術館（カリフォルニア）
アリゾナ大学センター・フォー・クリエイティブ・フォトグラフィー（ツーソン、アメリカ）
プリンストン大学美術館（ニュージャージー、アメリカ）
国立近代美術館（パリ）
ポンピドゥー・センター（パリ）
ミード美術館（ボストン、アメリカ）
テート・モダン（ロンドン、イギリス）
モルガン・ライブラリー（ニューヨーク）
ボストン美術館（ボストン、アメリカ）